



プレスリリース: 2016年03月03日
トピック: サーバーストレージ/ネットワーク

日本ヒューレット・パッカード、新たな成長企業のストレージ課題克服を支援

- 低コストのハイブリッドフラッシュおよび拡張性の高い ファイルサーバーソリューションにより、市場をリードする エントリーSANストレージ(*1)とNAS(*2)ポートフォリオを強化 -

2016年3月3日

日本ヒューレット・パッカード

日本ヒューレット・パッカード株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長執行役員:吉田 仁志、以下 日本ヒューレット・パッカード)は本日、お客様が限られた予算の中で、コンテンツを取り込み、アプリケーション実行を高速化することを支援する、ストレージポートフォリオの強化を発表します。「HPE MSA Storage」は、主要ベンダー(*3)による最も低コストのデュアルコントローラ ハイブリッドフラッシュアレイを実現します。また新しい「HPE StoreEasy 1650 Expanded」は、大容量のデジタル情報を保存する際のコストに変革をもたらします。

今日の中堅中小規模企業(SMB)やベンチャーキャピタルから投資を受けている企業にとって、変革への機会はこれまでに大きくなっています。しかし、こうした企業がアイデアを価値にしようとするほど、データ管理に伴う課題もさらに一般化しています。非構造化データの量が18~24ヶ月ごとに倍増(*4)し、ビジネスに関する判断を加速させなければならない中、情報を持つ価値を迅速かつ効率的に把握する能力は成功に不可欠な要因となっています。

<「MSA 1040」により、29%減のコストで

ハイブリッドフラッシュのパフォーマンス(*5)を実現>

ビジネスの応答性を高め意思決定を迅速にするため、日本ヒューレット・パッカードは「HPE MSA 1040」をソリッドステートドライブ(SSD)に対応させ、「HPE MSA Storage」製品を強化しました。このSSDへの対応拡大により、パフォーマンスとレイテンシーが最適化された1,400,000円未満(*6)からスタートが可能な新しいハイブリッドフラッシュストレージが実現し、より幅広いお客様にハイブリッドフラッシュ対応の「HPE MSA Storage」製品ファミリーをご利用いただけるようになりました。

アプリケーションからの要求の高まりにより、限られたIT予算の範囲内で、さらに効率とパフォーマンスにすぐれた共有ストレージが求められています。従来からのフラッグシップモデルである「MSA 2040」でのみ利用可能だったSSDの「MSA 1040」への対応と、新たなSSDラインナップと仮想化機能を使うことによって、「MSA 1040」および「MSA 2040」の両方が、よりコスト効率が高いフラッシュメディアの利用ができるようになりました。新しいMSA用SSDラインナップは、同一容量の場合に従来を約30%下回るコスト(*7)でハイブリッドフラッシュへの加速を可能にし、さらに多くの企業がよりすぐれたパフォーマンスとレイテンシー削減を実現できるようになりました。

「HPE MSA Storage」は、20年近く「HPE ProLiant」と「BladeSystem」サーバの低コストストレージの最善の選択肢となってきました。「HPE MSA」の最新の機能強化によるメリットは以下の通りです。

- 「HPE MSA1040」のシンプロビジョニング、スナップショットサービスの強化、ワイドストライピング、フラッシュベースの加速など先進的なストレージ仮想化機能による最高のストレージ効率
- わずか数本のSSDを追加するだけで、リードキャッシュについて最大70%、パフォーマンス階層化について最大90%、レイテンシーを削減(*8)
- ミッドラインSASハードディスクドライブ(HDD)を活用して、データを自動的にアーカイブ層に再配置することにより、ストレージコストを削減

<「HPE StoreEasy」を活用したクラス最高のNAS(*9)により、

設置スペースを80%、コストを41%削減>

「HPE StoreEasy 1650 Expanded」は、複雑さを伴うことなく価値と規模を最大化するよう設計され、超高密度で耐障害性が高いNASアプライアンスです。手の届く価格かつ増大するデータを保存可能な容量を最適化したファイルストレージソリューションを求めるお客様に最適です。このシステムは、28台のアクセスが容易なLarge Form Factor(LFF)ドライブを搭載することにより、わずか2Uながら最大224 TBの容量にまで対応する、市場で最も密度の高い2U NASアプライアンスです(*10)。この拡張性に富んだソリューションは、競合同等製品と比較すると、コストでは41%、設置スペースでは80%、コンポーネント数では82%下回りながら非構造化データを保存することができます(*11)。

新しい「HPE StoreEasy 1650 Expanded」は、従来の「HPE StoreEasy」製品ラインナップと同様、迅速なコンフィギュレーションツール、ベストプラクティスに基づくストレージプロビジョニングテンプレート、ストレージ専門ではないITスタッフにも管理の容易な一元化された監視ダッシュボードを提供します。データを保護するため、ドライブ、ファイルシステム、および移動中データの暗号化を含む多層的なセキュリティに加え、自動ファイル分類に基づく洗練されたデータアクセスポリシーを使用しています。「HPE StoreEasy」ソリューションはまた、モバイル環境を持つお客様に対して、Apple iOSとMicrosoft Windowsデバイスからのアクセスを可能にします。

「HPE StoreEasy 1650 Expanded」と「HPE MSA 1040」はHPE Just Right ITの製品ポートフォリオです。HPE Just Right ITはシンプルで信頼性が高く、利用しやすい価格のソリューションを通じて、中堅中小規模の企業が限られた予算であっても必要なシステムを迅速に稼働することを可能にします。

<価格と販売開始予定(*12)>

- 「MSA 1040」のSSDサポートは、hpe.comからダウンロード可能な、ファームウェア「GL220」へのアップデートにより使用可能です。このアップデートは保証期間中および保守契約が有効なお客様には無償で提供されます。
- SSDリードキャッシュをMSA1040で使用するために必要な、アドバンスド仮想化機能アップグレード使用権は、50,000円にて提供いたします。
- 低コストで使用できる新たなMSA SSDは既に提供されており、価格と容量は次のとおりです：400GB – 290,000円、800GB – 600,000円、1.6TB – 990,000円、3.2TB – 1,800,000円。
- StoreEasy 1650 Expandedはすでに提供開始しており、32TBの構成で、2,200,000円より提供します。

*1: IDC Worldwide Quarterly Disk Storage Systems Tracker (2015年第3四半期) の、外部ディスクサブシステム、エントリーストレージカテゴリのFactory Revenueに基づきます。

*2: IDC Worldwide Quarterly Disk Storage Systems Tracker (2015年第3四半期) の、直近11四半期 (2013年第1四半期から2015年第3四半期まで) のPrice Band 1~3の製品ブランドの台数に基づきます。

*3: 2016年1月現在のDell、EMC、IBM、HPE、Network Applianceの米国内表示価格に基づきます。

*4: 出典: <https://research.gigaom.com/report/how-to-handle-petabyte-scale-growth-in-enterprises/>

*5: コスト削減は4 x 1GbE iSCSI SFPと2 x 200 GB SSDを搭載したMSA 2040 SAN SFFアレイの価格 (定価: 1,940,000円) を、2 x 200 GB SSDを搭載し、MSA 1040 アドバンスド仮想化機能アップグレード 使用権アップグレードを行った1GbE iSCSI MSA 1040 SFFアレイの価格 (定価: 1,370,000円) と比較したものです。

*6: 2 x 200 GB SSDを搭載し、MSA 1040 アドバンスド仮想化機能アップグレード 使用権アップグレードを行った1GbE iSCSI MSA 1040 SFFアレイの価格 (定価1,370,000円) に基づきます。

*7: 日本での定価の、400GB SSD: 290,000円 (前モデルは420,000円)、800GB SSD: 600,000円 (前モデルは820,000円)、1.6TB SSDが990,000円 (前モデルは1,600,000円) に基づきます。

*8: SSDリードキャッシュとSSD自動階層化機能を使用して行われたDemartekの一連の負荷テストに基づきます。レポート全文はwww.demartek.com/ のExchange, SQL, Mixed Virtualized Workloadsからご覧いただけます。

*9: 物理容量216 TBのNetApp FAS2520と比較しています。(米国価格)

*10: 公開情報のHPE社内の計算に基づきます (2016年2月現在)。

*11: 公開されている製品情報に基づきます。物理容量216 TBのNetApp FAS2520と比較しています。

*12: 公開されている日本での定価に基づきます。

■ プレスルーム

<https://www.hpe.com/jp/ja/newsroom.html>

#

文中の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ お客様からのお問い合わせ先

カスタマー・インフォメーションセンター

TEL: 0120-268-186 (携帯、PHS: 03-5749-8279)

ホームページ: <http://www.hpe.com/jp/>